

友 情

＝第32号＝

平成25年（2013年）3月発行

富士宮国際姉妹都市協会
富士宮市弓沢町150番地
富士宮市くらしの相談課内 0544 (22) 1486



任期二年を振り返って

会長 望月伸浩



会長の大任を拜命して早や二年が過ぎようとしております。

市民の皆様、協会役員そして事務局のご協力に改めて深く感謝申し上げます。

さて、初年度（二十三年度）は、交換学生事業、親善訪問団事業、市民交流事業等の実施には、関係各位の皆様のご協力ですべてが大成功のうちを終了することが出来ました。なかでも派遣学生の中の二人が特に向学心を燃やし、一名はカナダへ、もう一名はカリフォルニアへ現在留学しています。

二年度（二十四年度）では、交換学生事業は、残念ながら派遣一名、受入一名でありましたが、一般家庭でのホームステイを通じ、異文化で貴重な体験をし、大いに交流を図ることができました。特に派遣された学生は交換留学を通じ、将来の自分の目標が定まり、更に日本のことがこ

れまで以上に好きになったとのことでした。

一方、例年にはなかったサンタモニカ高校日本語科学生（十三名）の訪問がありました。一行は四月に修学旅行で来日、その中の一日をつかって富士宮市を訪れ、市長表敬訪問や富士宮やきそばを味わい、その後浅間大社、田貫湖、外神東公園（サンタモニカの小径）等を散策しました。また七月には同市のジョン・アダムス・ミドルスクールの学生一行（十八名）も、京都方面へ来日した際、富士宮市を一日訪問し、同じく富士宮やきそばで昼食をとり、富士宮サッカー協会の学生達とも交流を深めました。

両学生たち共に富士山に感激し、富士宮市にとてもよい印象をもって帰国しました。

以上任期二年間の主な事業の報告をさせていただきましたが、当協会を通して、両市が更に国際交流の輪を広げ、富士宮市の国際都市としての一層の発展に寄与出来ますよう、協会役員一同なお一層努力する所存でございます。

最後に会員皆様のご健勝をお祈り申し上げます、挨拶とさせていただきます。

本当に行ってよかった!!

富士高等学校一年 森 優希

今回のホームステイの体験は、私にとってつらいことばかりだった。たった一人の飛行機。現地に着いてもホストファミリー以外頼れる人はいない。でも、つらかった分ドイツ・ニーランドに行った時など楽しむべき時には楽しめた。また、そのつらさは日本にいたら絶対に体験できない貴重なものだったと感じている。

ホームステイをして、一番良かったと思うことは、日本をもっと好きになれたことだ。アメリカでの生活は、衣・食・住のすべてが日本とは違った。例えば、服は一回着た

くらいでは洗わないため週に二回程度しか洗濯しなかったり、食や健康に日本人のようにこだわりのないのか野菜は少なく、毎日ポテトやチキンなど同じようなものをそれぞれベッドの上で食べていたり、家には靴のままあがったり、書き出したらきりが無いほどの違いがあった。日本で

ずっと生活してきた私には、それは新鮮であったが慣れるのは大変だった。全く今までは違う生活をしてみて初めて、どれだけ普段の生活を何も考えずに送ってきたかというのを感じた。また、ただ日本の生活が、自分の家での生活が、自分に合っているのかということも感じた。このことがきっかけで、私は日本をもっと好きになれた。自分の家のことももっと好きになれた。日本のことをもっと好きになれたから、もっとアメリカの文化を知ろうと思えた。

ホームステイをして良かったと思うことはまだ他にもある。自分の夢を見つけられたことだ。サンタモニカに滞在中、中学校の英語の先生になるという夢を見つけた。サンタモニカ市やその周辺を車で走っているときに、たくさんの日本食レストランや寿司屋を見た。これは、カリフォルニアには日本に興味を持って

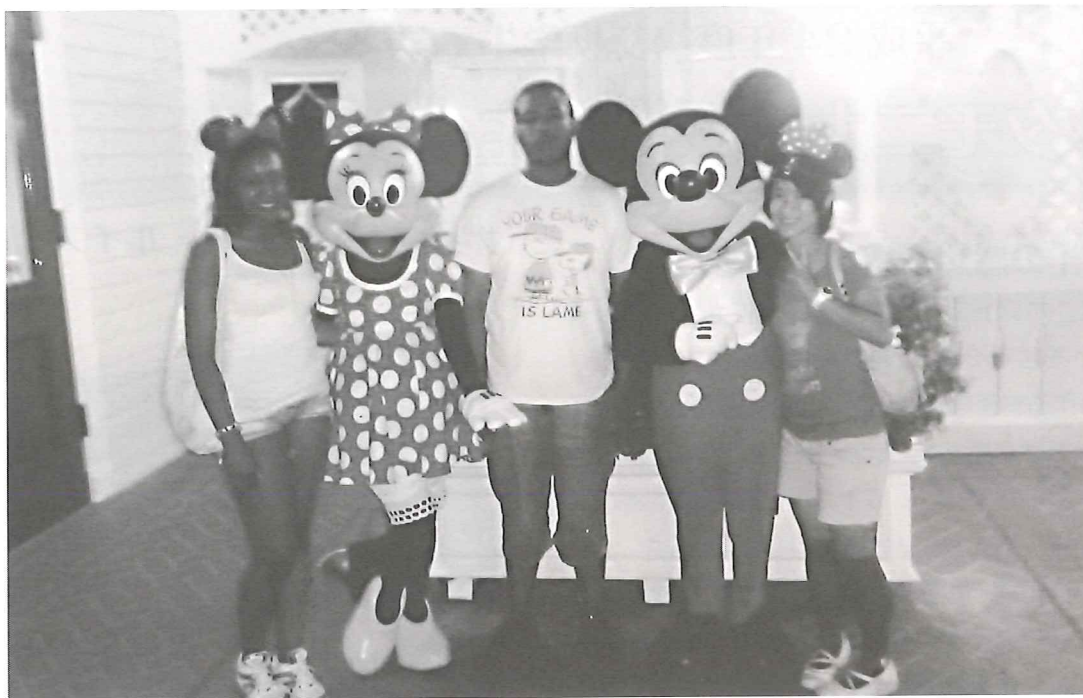
くれているアメリカ人がたくさんいるということを示していると思った。そして、外国の人たちが日本に興味を持ってくれているうちに、日本は国際化した方がいいのではないかと思った。日本は今人口が減っていて、いつかは潰れてしまいかもしれない。だけど、日本が大変な状況になるときまでにたくさんの国と仲良くしておけば、どこかの国が日本を助けてくれるかもしれない。そのことを、自分よりも後の世代の人たちに伝えたいと思った。だから、先生になりたい。国際化についての話をするには、英語という教科が一番良いと思った。だから、英語の先生になりたい。それから、中学校の部活の楽しさも教えたい。だから、中学校の英語の先生になりたい。

以前は、英語を使ってできる職業に就きたいということしか思っていなかった。このような将来の明確な目標を立てられたのは、ホームステイで様々な貴重な体験ができたからだ。

まだ他にも行って良かったと思うことがある。学校の英語の学習をこれまで以上に頑張ろうと思えたことだ。サンタモニカに行ってみて、得意だと思っていた英語が私の言っていることは通じるもののエルの周りの人たちの言っていることがなかなか聞き取れなくて最初の頃は自信を無くした。しかし、その家族の発音、くせなどに慣れてきて、聞き取れるようになった。やはり、現地の英語の発音と日本で聞く英語の教材の発音とはまったく違うのだということを実感させられた。もっと色々な国に行って、色々な発音の英語を聞いて、少しでもたくさん外国の人と話せるようになりたいと思った。そ



サンタモニカへ出発



ディズニーランド

のために日本の中でできることとして、普段の英語の学習をこれまで以上に頑張ろうと思った。

また、自分の両親に感謝できるようにもなった。私が自

分の英語に自信を無くしたとき、私の母は電話口で「現地の英語が聞き取れないなんてしょうがないよ。今まで優希が勉強してきた英語は、日本人向けに作られたものだから、落ち込んでないでたくさんの人と話さないとせっかく行ったのにもったいないよ。」と言ってくれた。この言葉があったから、立ち直ってもっと英語を話したり聞いたりして積極的にこの英語に慣れようと思えた。そしてもし私の両親が私のことを信じてくれていなかったら、私を一人で外国になど行かせてくれなかったと思う。私のことを理解してくれる両親で本当に良かったと思う。両親の協力なしにはこの貴重な体験はできなかった。家族に感謝しなくてはならないのはあたりまえのことなのかもしれないが、普段の生活ではなかなかそのありがたさに気づくことはできないと思う。

これらの経験を通して、私は成長できたと思う。サンタモニカで色々なものを見てきたことによって、他の文化もたくさん体験してみたいと思うようになった。この経験を将来だけでなく日々の生活にも活かしたい。普段から、世界に目を向けられるような人になりたい。

このホームステイに関し



バットマンと記念撮影

て、私に協力してくれたすべての人に感謝している。もちろん、こんな素敵なプログラムにも感謝している。これからもずっと続けていってほしい。私だけではなく、私よりも後の世代のたくさんの人た

ちにもこんな貴重な体験をしてもらいたい。そして、今とても強く思っていることー本当に、行って良かった!!

平成24年度 交換学生事業

サンタモニカ市交換学生アンケート

サンタモニカ高 エル・ルイス

1. ホームステイの感想を書いて下さい。

★ すばらしかった。ホストファミリーは本当に私に家族の一員のように感じさせてくれ、飽きさせることもなかった。ホストマザーの作る料理はすばらしく、日本食が大好きだ。数回富士宮やきそばも食べたが、アメリカで食べる焼きそばよりはるかにおいしかった。それから、富士宮の学生と一緒に彼女の高校へ通えたこともとても楽しかった。みんなとてもいい人たちで、自分の英語が私に通じるか試してきたのだがしっかり通じた。あと数人の先生が自分の授業に参加させてくれて本当に楽しかった。総じて、私はすばらしい時を過ごし、また戻ってくるのが楽しみだ。



2. ホームステイ中に困ったことはありましたか？

★ 私が国際電話に対応している携帯電話を持っていなかったのが唯一の困ったことだったが、家族に連絡が必要なときはいつでもホストファミリーが電話を使わせてくれた。

3. 日本で体験したことの中で一番楽しかったことは何ですか？

★ お買い物！いろいろなお店に行ったのがとても楽しかった。例えば東京駅、どのお店も見まわるのがすごくおもしろかった。数軒しか行かなかったものの、存在すら知らなかったお店を見まわったのは素敵なことだった。あと、観光も。浅間大社や白糸の滝、田貫湖へ行った。それと市長に会ったのもとても楽しかったし、すごくいい人だった。上野動物園も本当に楽しかった。

4. 一番イヤだったことは何ですか？

★ 一番は周りの人が何を言っているのか理解できなかったこと。少しはわかったがすべてではなかった。そのほかには、虫。すごく大きい！こっちの蜘蛛は大きくてどこにでもいた。私は蜘蛛が嫌いなので、行く先々で少なくとも10回は見て、だんだん慣れなきゃいけないのがおもしろかった。

5. ホームステイ中、行きたかったけど行けなかったところ、やりたかったけどできなかったことはありますか？

★ 水族館を見に、沖縄に行けたらよかった。あとサンリオランド。東京ももっと見てみたかった。

6. 富士宮国際姉妹都市協会に対し、何かご意見等があれば書いて下さい。

★ これはすばらしい事業です。ずっと続くことを願っています！若い人たちが他国の文化を経験でき、楽しむことができるので。

サンタモニカ高校生 修学旅行で来宮

サンタモニカ高校日本語学科の生徒 11 名が教員 2 名の引率のもと 4 月 1 日に修学旅行で来日し、東京や京都などを観光した後、9 日（月）に富士宮市を訪れました。生徒たちが「姉妹都市である富士宮へ行ってみたい」と希望したことから実現しました。この日は天候に恵まれ、皆さん満開の桜と富士山の姿にとっても感動していました。一行のなかには昨年度交換学生として来宮したカラニ・キヨハラさんもいて、富士宮市の交換学生だった杉山さんとの再会を喜んでいました。

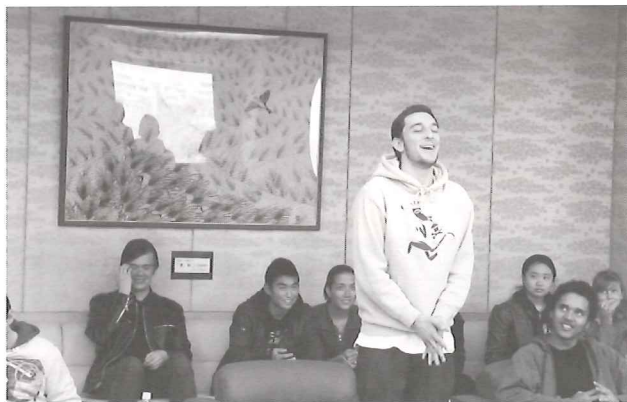
No	氏 名	性別	年齢
1	Larry Boone	男	教 頭
2	Emily Kariya	女	日本語教諭
3	Kiemute Agindotan	男	17
4	Brian Alfano	男	18
5	Daniel Bottitta	男	16
6	Cyrus Chun	男	15
7	Kevin Do	男	18
8	Sundra-Jay Dunbar	女	17
9	Tricia Gemarino	女	17
10	Eve Kendall	女	17
11	Kalani Kiyohara	女	17
12	Chase Kumasaka	男	18
13	Milo Robb	男	18

行 程

9時45分 新富士着

- ・ 富士宮市長表敬訪問
- ・ 昼食：富士宮やきそば
- ・ 富士山本宮浅間大社にて祈祷、その後散策
- ・ 田貫湖畔散策
- ・ 外神東公園（サンタモニカの小径）

16時07分 新富士駅発



1人ずつ日本語で自己紹介



祈 禱



サンタモニカの小径



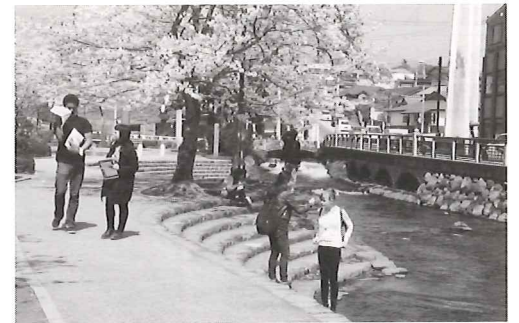
**サンタモニカ高校を代表して
ダニエル・ボティタ君が
富士宮市の印象を書いてくれました**

富士宮への旅行は僕の思い
出のなかに長く残ると思いま
す。ほかにもいろんなところ
に行きましたが富士宮の人た
ちが一番親切で心温かかった
です。駅に着くと僕たちのた
めだけに町を案内してくれる
バスがそこにいたのでものす
ごく驚きました。まずはじめ
に市役所へ行って富士宮市長
に会いました。いきいきとし
た市長は市を代表してとても
好意的に僕たちを迎えてくれ
ました。その日に会ったほか
の人たちと同様、市長は心優
しく思いやりがあつて、ほん
の短い時間会っただけの生徒
一団のことをとても気にかけ
てくれました。これは僕たち
の誰もが予想していなかった
歓迎でした。

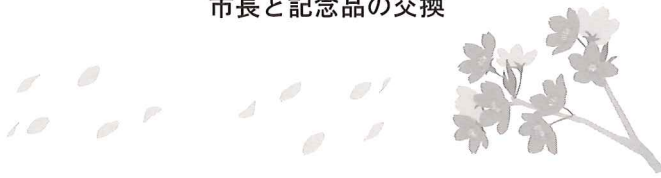
僕たちが訪れた神社の風景
は、舞い落ちる桜の花びらに
包まれているかのように息を
のむものでした。そこは人々
が安心できる場所―外国を旅
しているという違和感を完全



市長と記念品の交換



神田川で桜を楽しむ



サンタモニカ高校からの寄せ書き

ありがとうございました。

-ダニエル・ボティタ

ありがとう!
-トリアー・バマリア

とも ありがとう!

-ケビン・度

ありがとうございました!
ふじのみやはどこも
きれいで。
サンドラ・ダツバル

ありがとう!!
-ブラマン・アルフィ

ありがとう
ございました!
ふじのみや
は素敵です
-チェイス (スマイリー)
ワマサワ



本当にありがとう
ございました!
清原 カラニ



L.B.

ありがとう!
サイラス・チャル

ありがとう!
-キエムテ・アギンドタン

ありがとう!
-イヴ・ケンダル

ふじのみやが大好きです!

ありがとうございました!

ロップ・マイロ

エミリー・カリヤ先生からのお礼状

お忙しい中、富士宮市の案内をしていただきまして、ありがとうございました。私たちサンタモニカ高校のためにお時間をささ下さり、誠に感謝しております。

春休みから学校に戻って、生徒たちに日本の旅行について聞いたところ、ほとんどの生徒は日本で一番よかったのは富士宮だったと答えました。富士宮市の立派な場所をいくつもお連れいただいたこと、お代わりするほどおいしかった焼きそばをこっそりいただいたこと、すばらしい記念品までいただいて、皆様のおもてなしと寛大さに感動いたしました。

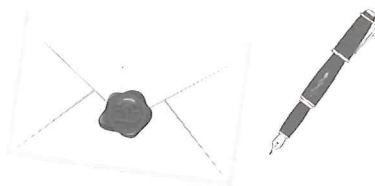
富士宮市の美しさを体感できる機会をくださり、本当にありがとうございました。また来年もお邪魔するかもしれません。その時もよろし

くお願いいたします。
サンタモニカにいらつしゃる時はぜひご連絡ください。

カリヤ先生の言葉通り


2013年3月26日(火)

2年連続となる来宮が決定!



交換学生・市内観光 & ウェルカムパーティー

7月16日(月)




交換学生はこの日午前中、白糸の滝、田貫湖、富士ハーネスなどを観光した後、富士ミルクランドバーベキューガーデンにて協会役員、交換学生家族や友人とともにウェルカムパーティーに参加。また、2008年に交換学生だったアレイア・アンドウさんも名古屋の大学での留学を終えてこのとき富士宮に滞在していたので、ウェルカムパーティーに参加してくれました。



● ジョン・アダムス・ミドルスクール生徒一行受入 ●



ジョン・アダムス・ミドルスクールから校長先生と保護者3名とともに14名の中学生が来宮しました。一行は東京や箱根を観光した後、京都府木津川市との交流事業へ参加、帰国前のこの日、富士宮訪問となりました。4月のサンタモニカ高校の学生たちの感想を聞いたそうで、ぜひ訪問したかったとのことでした。

富士宮サッカー協会の学生たちと鉄板を囲んでのやきそば交流会や交換学生たちと浅間大社散策など、同年代同士で交流を深めていました。

…… ジョン・アダムス・ミドルスクールの
引率者お二人から感想を頂きました ……

富士宮を訪問して

マーク・ミリニツチ

昨夏、サンタモニカ市の
ジョン・アダムス・ミドルス
クールの生徒達が京都府木津
川市役所及び木津川市国際交
流協会との交換事業の一環と
して日本を訪問する機会があ
りました。私と妻のデボラは
この一行の付き添いで、娘のステラはそ
のラッキーな生徒の
一人でした。

とても忙しい旅行
でしたが、富士宮国
際姉妹都市協会の協
力のおかげで私たち
は旅の最終日に富士
宮を訪問することが
できました。

私たち家族三人に
とって、富士宮訪問
はこれが二度目です
。二年前に、姉妹
都市協会のゲストと
してサッカー大会に
参加するため訪れま
した。その時富士宮



迎えに来てくれました。手配
して頂いたバスに乗り込み、
おいしい富士宮やきそばを食
べに向かいました。そしてそ
こでは地元の子どもたちに迎
えられました。すばらしい昼
食を食べ、サンタモニカのみ
んなは富士宮の子どもたちに
会えたことを本当に喜んでい
ました。

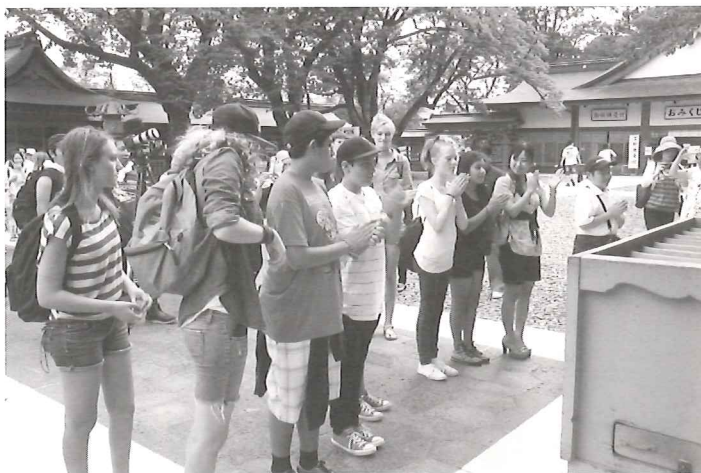
私は二年前に富士宮で行わ
れたサッカー大会で審判を務
め、スポーツマンシップに
のつとめたプレイを
したと認めた時にグ
リーンカードを出す
という日本のサッ
カーの慣習にとても
興味を持ちました。
私はこのコンセプト
をサンタモニカの試
合でも取り入れられ
たらすばらしいなど
考えていたのです
が、昼食の席でその
グリーンカードをプ
レゼントされました。
今私はこれをサン
タモニカでユース
サッカーの審判たち
と共有していて、こ
の小さな文化交流が

サンタモニカにおい
てよりすばらしいス
ポーツマンシップを
生むことを望んでい
ます。

昼食の後、富士山
本宮浅間大社へ行き
ました。子どもたち
はみんな巫女さんと
写真を撮ったり、富
士山からの冷たい湧
き水に触れたりと本
当に楽しんでいまし
た。

公園へ行って、サ
ンタモニカピアア
ーチのレプリカの下で
写真を撮った後、バスで駅へ
向かいました。

しかし、楽しみはまだ終
わっていませんでした。公
園でサンタモニカの生徒たち
は数人の地元のスケートボー
ドをしていた男の子たちと交
流していました。(スケート
ボードは富士宮もサンタモニ
カもすべての子どもたちに
とって楽しいものです。)私
たちが出発の時間となると、
富士宮のスケートボーダーた
ちは自転車に乗って私たちの
バスを追いかけました。



午後の交通渋滞のため、彼ら
は私たちが駅へ向かう半分く
らいまでは自転車で追いか
けてくることができ、子どもた
ちの道中を楽しませてくれま
した。

東京へ向かう電車に乗った
後、雲間が晴れて富士山を眺
めることができ、この一日
が本当にラッキーな日だった
と感じました。



サンタモニカよりご挨拶 デボラ・チャンドラー

昨夏、私はサンタモニカ市の
ジョン・アダムス・ミドル
スクールの中学生たち十四名
を一期一会の日本への旅行に
連れて行くという特別な機会
を与えられました。私たち一
行は東京、箱根、京都、木津

川、奈良と富士宮を訪問しま
した。

サンタモニカからの訪問団
を代表して、富士宮国際姉妹
都市協会と富士宮サッカー協
会の皆様、そして私たちの訪
問を快く歓迎してくださった



すべての方に感謝申
し上げます。

富士宮を訪問した
のは海の日で休日であ
ったのに、私たちは
協会の方とサッ
カー協会の少女たち
に迎えられました。
またほかにアメリカ
から富士宮に滞在
していた数人の学生
に会いました。サン
タモニカ高校からの
交換学生エルさんと
この後八月にサンタ
モニカに来ることになっ
た富士宮の交換学生ユキ
さんにも会うことが
できました。
女子サッカーの生徒
たちとお母さんたちと
一緒においしいやき
そばを食べた後、
富士宮の美しい神社
や姉妹都市両市の絆
を象徴するサンタ
モニカピアサインを見
に行きました。私た
ちは富士宮の人たち
といろいろな話をし
て一緒に笑いました。
サンタモニカの子
どもたちは昼食の場
でも浅間大社脇の冷
たい川でも公園でも
富士宮の子ともた
ちと遊んでいました。

親としてまた引率者



て、子どもたちを遠くへ連れて行くときに願うことのひとつはすばらしい経験をさせてあげたいということです。若い子たちに単なる旅行者としての楽しみ以上のものを味わわせてあげたいのです。世界を別の角度から見ることを知り、ほかの人の目で見たい世界を知ること、よりよい人間に育ってほしいと願っています。旅は私たちの心を開かせ、日常生活にも新たな気付きを与えてくれます。この様々な可能性への理解が私たちの日々の生活をより創造的にしてくれます。

私たち一行に地域社会と文化の架け橋を築くことの大切さを教えてくださり、ありがとうございました。多くの富士宮の皆様が休日を使って私たちの訪問を大いにもてなしてくださったことに深く感謝しております。そして富士宮の有名なやきそばは“oishiii”です！



国際友好都市パネル展

4月3～9日 市役所1階市民ホール



このパネル展は、富士宮市と提携している海外の都市の紹介とこれまでの交流の歴史を広く市民に知ってもらうことを目的に、市制施行70周年記念事業の一環として3回開催されました。友好交流関係都市である中国の紹興市や、平成24年11月に新たに調印した韓国の榮州(ヨンジュ)市とともに、当協会では、姉妹都市サンタモニカの紹介や交換学生事業、訪問団やサッカー大会など過去の交流の歴史を展示しました。開催期間中は、多くの方が会場を訪れ、両市の写真や資料に見入っていました。

6月2・3日

宮元気 70

まちなかにぎわいまつり

(会場：市民文化会館)



11月17・18日

産業フェア

国際交流フェスティバル

(会場：市民体育館第二体育室)



平成24(2012)年度に行われた事業

●会議の開催

総会：平成24年5月9日(水)

●交換学生事業の実施

サンタモニカ市から受入れ：7月13日(金)～8月2日(木)

富士宮市から派遣：8月2日(木)～8月23日(木)

サンタモニカ市側交換学生：1人(女1人)

富士宮市側交換学生：1人(女1人)

●会報『友情』第32号の発行

●市民交流事業の実施

★サンタモニカ高校日本語学科修学旅行生受入

1. 日程：4月9日(月)

参加者：13人

2. 日程：3月26日(火)

参加者：25人

★ジョン・アダムス・ミドルスクール訪問団受入

日程：7月16日(月)

参加者：18人

★平成24年度交換学生

サンタモニカ側交換学生		富士宮側交換学生	
氏名・性別	学校名・学年	氏名・性別	学校名・学年
エル・ルイス(女)	サンタモニカ高 11年	森 優希(女)	富士高校 1年

平成25(2013)年度総会のお知らせ

●と き：5月8日(水) 午後2時～

●ところ：市役所7階710会議室

平成25(2013)年度の主な事業予定

●交換学生事業 受入：7月17日(水)～8月6日(火)

派遣：8月6日(火)～8月27日(火)

●市民訪問団派遣

※平成25(2013)年4月1日より、富士宮国際姉妹都市協会事務局の担当部署が
富士宮市役所 市民生活課 市民交流係 に変わります。

サンタモニカ高校生が四月に来宮したのは驚きでした。彼らは東京の安いホテルに泊まり、飛行機も夜中に到着・出発するよ
うな便で日本に来てくれて、広島・京都か
らの帰りに忙しく半日富士宮に寄ってくれ
ました。夏とは違い満開の桜、ぽかぽかと
した春の陽気に、交換学生で一度富士宮に
来たキヨハラさんも感動していました。浅
間大社でも神殿で、ご祈祷したことは有意
義だったと思います。七月に来宮したJ A
M S中学生たちも富士宮の中学生に出迎え
られてよい経験になったと思います。唯一
の交換学生の森優希さんは中学校を卒業し
たばかりで、困ったことが多かったよう
ですが、めげることなく偉かった。彼女が日
本のよさを発見したことは喜びです。「グ
ローバリゼーションはナショナリズムを育
てる」と言われています。自分の国の事が
良い意味で大切に思えることは、これから
国際人として生きなければならぬ若者に
は重要なことだと思います。
一年間、健全な青少年の育成に労を惜し
まず支えてくださった先生・保護者の方々
には、心から感謝します。来年も楽しくサ
ンタモニカとの交流が出来るそうです。日本
からも何気なくサンタモニカに行ってくれ
る若者が増えることを期待します。

編集後記

望月達也